

# 記号としての日本—『極楽台湾』騒動を例に—

横路啓子\*

## 要旨

2002 年、日本で出版された旅行情報誌『極楽台湾』は台湾で大きな社会問題を巻き起こした。この雑誌は台湾の風俗情報のみを集めたいわゆるアングラ本で、台湾に輸入され販売されたことによって、主に当時の台北市長馬英九の発言や行動を中心にして 2002 年初頭の台湾のマスコミを大いに賑わすことになる。これは日本の出版社や書籍を輸入した書店がまったく予想していなかった事態だが、騒動となった原因については「政治的要素、民族主義的要素、性的な要素」という台湾のマスコミが好むモチーフがそろったものであったことが指摘されている。『極楽台湾』騒動は、前年の『台湾論』騒動と比較もされているが、『台湾論』騒動が政治的に仕組まれた騒動であるのとは異なり、『極楽台湾』騒動はなんら政治的な意図もなく、単に台湾に輸入されただけの日本の書籍が、台湾社会全体に大きな反応を引き起こしたという点で、よりありありと台湾社会における日本の意味を示しているように思われる。本論は台湾社会の構造、あるいは台湾と日本の関わりを考える際の一つのヒントとしてこの騒動の顛末を追い、その中で台湾社会において日本がどのような意味を持たされているのかを考察するのが目的である。

キーワード：『極楽台湾』騒動 文化研究 台湾社会 記号 日本

---

\*輔仁大学日本語文学科 講師

## 作為符號的日本—以《極樂台灣》風波為例

橫路啓子\*

### 摘要

2002 年在日本發行的旅遊雜誌《極樂台灣》，到台灣引進來之後引起軒然大波。這本雜誌雖然只不過是收集台灣的風流場所資訊的三流雜誌，可是在台灣進口銷售之後，以當時的台北市長馬英九的反應為主，讓 2002 年初的台灣各界出現許多憤慨之聲。對日本的出版社或書籍進口商而言，萬萬沒想到日本的雜誌在台灣引起這麼大的風波，而已有學者指出形成風波的原因在於「政治化、民族主義化以及性別化」等台灣媒體最熱衷的因素都包含在其中的緣故。也有人《極樂台灣》風波與前一年發生的《台灣論》風波進行比較，《台灣論》風波是以政治意圖所製造出來的現象，而《極樂台灣》雜誌卻沒有任何政治性的操作，純粹只是以商業目的而進口引起社會問題。由這點來看，筆者相信《極樂台灣》風波更為凸顯台灣社會中，日本所被賦予的意味以及所扮演的角色。作為在思考台灣社會的結構與台日關係時的契機，本論文詳細描述這風波的經過，且由此探討在台灣社會中日本作為符號到底具有何等意義。

關鍵詞：《極樂台灣》風波 文化研究 台灣社會 符號 日本

---

\*輔仁大學日本語文學科 講師

# **Japan as Symbol:Through the GOKURAKU TAIWAN Commotioin**

Yokoji Keiko<sup>\*</sup>

## **Abstract**

In 2002, the guidebook GOKURAKU TAIWAN published in Japan was imported to Taiwan, gave Taiwan society a lot talk about. Although it is just patched-together guidebook introduced Taiwan's play spot, but after imported and sold at Taiwan, mainly the over reaction of then Mayer of Taipei Ma Ying-jeou made a big turmoil in Taiwan. To the Japanese publisher or importer, it was quite unexpected to give rise to a big problem. As already pointed, the reason of this commotion made is the topic included political, ethnicity, sexual issues, which the Taiwan media had highly attention constantly. Compared with the TAIWANRON problem occurred in previous years by the political intention, we can find the GOKURAKU TAIWAN problem more clearly showed the characteristic trends of Taiwan society. From this point of view, firstly I describe the whole commotion of GOKURAKU TAIWAN, after that argue about the Japan as symbol in Taiwan, for the hints what think the structure of Taiwan society and the Japan and Taiwan relationship.

**Keywords:** GOKURAKU TAIWAN commotion, Cultural study,  
Taiwan society, Symbol, Japan.

---

<sup>\*</sup> Lecturer, Department of Japanese Literature and Language, Fu Jen University